

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和5年7月10日（月）
- 2 確認箇所  
多核種除去設備等処理水 測定・確認用設備
- 3 確認項目  
多核種除去設備等処理水の試料採取状況

### 4 確認結果の概要

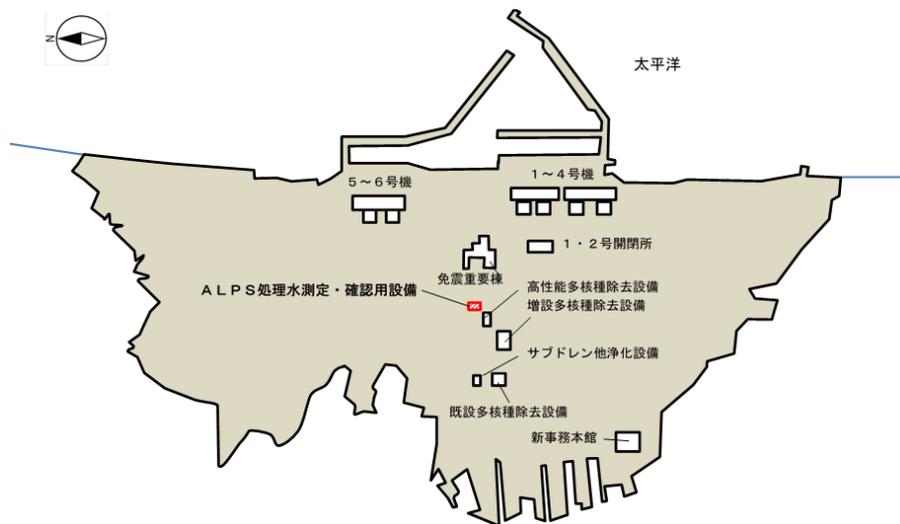
多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）の海洋への希釈・放出に際して、東京電力は、希釈前のALPS処理水の放射能濃度や水質を測定し、トリチウム濃度以外、法令上の基準を満足することを確認することとしている。（トリチウムは海水で希釈して法令上の基準を満足させる。）

東京電力は、測定・確認用設備であるK4タンクエリアのC群に貯蔵しているALPS処理水のサンプリングを6月26日に行い、放射能分析及び水質分析を行っている。また、B群のサンプリングを3月27日に行い6月22日に測定結果を公表している。

今回、前回と同様にK4タンクエリアのA群に対して6日間の循環攪拌運転が行われ、タンク群における均質化が実施された。本日は、東京電力がA群のALPS処理水試料を採取することから、その状況や手順を確認した。

（図1）（前回確認：[令和5年6月26日](#)）

- ・試料採取は、C群の試料採取の際と同様、循環ポンプが設置されている建屋において、試料採取専用の系統から行われた。（写真1）
- ・試料採取の際、配管のフラッシング（配管内部の水の除去）が行われた後、分析目的や分析機関ごとに容器を分けて試料の採取が行われていた。（写真2）
- ・試料採取時間（＝試料採取終了時刻）が確定した後、各容器には、採取時間、試料名等を記載したラベルが貼り付けされていた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
試料採取の状況



(写真2)  
採取された試料の状況



(写真3)  
試料ラベル付けの状況

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。